

沢田クリーニング店の明日

○登場人物

沢田 美由（高校2年） クリーニング店の娘。帰宅部

西野 楓（高校2年） 美由の幼馴染。帰宅部

賀上 春香（高校2年） 美由、楓が通う高校に転校してきた。吹奏楽部

沢田 菜々実（大学2年） 美由の姉

田村 由布子

○クリーニング店 店前（夕）

小さいテーブルと椅子が2つ置かれている。

T シャツに短パンのようなりラックスした服装の沢田美由と西野楓、向かい合って夏休みの宿題をしながら話している。

イデントイティを持たへんわけやん。

楓..はあ..（考えながら）。

美由..それやつたら、せめて「関係」の方だけでも、はつきり何の関係なんか言うといてくれんと。人間関係？ 政治関係？ 学校関係？ 私とあなたの関係って一体何なの？ そこんところはつきり

させてもらわんと、分かつてあげたくてもこつちも分かつてあげられへんわ。

楓..……ちょっと休憩しよか。

美由..その言葉、待つてた。

楓..勉強嫌んなつたらそうやつて屁理屈こねてその場にいる全員を混乱させてくんの、昔から変わらへんよな。

美由..作戦勝ちや。

楓..勝つてへん、勝つてへん。

美由..……

楓..関係代名詞！ 文章の途中で Whatとか来たら大概は関係代名詞やから！ 「人生は自分でつくるもの」。

菜々実..お、楓ちゃん。

楓..あ、お姉さん。

菜々実..今日も来てくれてたんや。

楓..はい。

美由..お姉ちゃんどこ行くん？

菜々実..コンビニとドラスト。

美由..え..！ アイス買ってきて！

楓..……はあ？ 誰と誰の関係のこと言うてんの？

美由..だつてさ、そもそも関係代名詞って何なん？ 関係？ 何関係？

代名詞自体が、何かの代わりになるものであつて、それ固有のア

菜々実・何でやねん。自分で行き。

美由・えー！

菜々実・ほなね、楓ちゃん。

楓・あ、はい。いつてらっしゃい。

間

美由・暑いなあ……。

楓・暑い。

美由・楓ちゃんごめんな。店番付き合わせて。

楓・ええって。もうこれで最後なんやし。

美由・ちよつと！ 最後つて言わんといて！

楓・え？ ごめん。……え、でも最後やんな？

美由・……最後や。

楓・やんな。最後ちやうんかと思つた。

美由・最後やけど、最後やつて思いたくないねん。

楓・ああ、まあな。それは分かる。私も美由んとこのクリーニング屋

は、何て言うか……、もう半分自分ちみたいに感じてたから。

美由・小学生の頃からさ、ほとんど毎日来てくれてたもんな。

楓・そうそう！ なんか、もうこの椅子とテーブル、私ら専用みたい

になつてたし。

美由・せや、小3の頃さ、学校から帰つてきたら、ここに知らんカツ

プル？ が座つててさ、楓ちゃん、ここ私らの席やからつて言う

て無理やりどかしたことあつたよな！

楓・え!? ちやうつて、そんなことしてへん！

美由・してたつて！

楓・ちやうちやう！ それ美由やろ！ 「ちよつとすみません！ こ

うちの店なんんですけど、ご用ないならお引き取りください！」

つて、大人みたいな喋り方で。

美由・え!? ちやうよ！ それはあの時やん、えーっと、ほら！ な

んかおばさん一人が一生ここでだべつてた時！

楓・え？ ああ…そうやつけ。

美由・そうやつて！

楓・そうか……そうやつたかも。はあ、懐かしいなあ。

美由・うん……つて、やめて！ なんか寂しなるやん。

楓・せやな。ごめん。でもなんか、ここなくなつたらうちらの居場所

一つなくなつてしまふような感じして。

美由・せやな……。これからうちら、どこで集まつたらええんやろ？

楓・それは美由の部屋に決まつてるやん。

美由・え!? 何でよ！ 楓ちゃんの部屋でもええやん！

楓・うちはあかん。お母さん、気軽に人家に呼ばれへん性格やから。

美由・そんなん、うちもそうやつて！

楓・嘘やん！ 美由のお母さん、ようお客さんと話し込んで、「まあ、こんなどこで長話もあれやからちよつと上がつて行つたら？」つ

て、中に引きずり込むつて、人聞き悪い！

楓..だから大丈夫やつて。ましてや、うちやし。

美由..でもほんまにあかんで。うち、お姉ちゃんと相部屋やし。

楓..あ、そうか。

美由..そうよ。

楓..ほんなら、ほんまにもう集まるところないやん。

美由..なんか考えよ！ どつかあるつて。ちょうどいい居場所！

制服姿の賀上春香、手提げ袋を手に走つてくる。

春香..あ、あの……
楓..いや、どうしたも何も、クリーニング出しに来はつたんちやう
の？

春香..（息を切らしながら）……あの。

美由..あ、いらっしゃい……あれ？

春香、美由の顔を見て一瞬かたまる。

春香..あ、いや、
美由..あ、そうか、そうやんな。賀上さん、家このへんやつたんや。
春香..あの……（決心したように）今日出して、明日の朝までつて、
仕上りますか？

美由..あ、ごめん。せつかく来てもらつたんやけど、実はうち、今日
で閉まんねん。

春香..え？

美由..あ、今年の4月からうちのクラスに転校してきた……
楓..ああ！ そうなんや。こんにちは。

春香、踵を返す。

美由..え？ あ、待つて！

立ち止まる春香。

美由..あ、えつと…賀上さん、どうしたん？

楓..ほんまにもう集まるところないやん。

美由..なんか考えよ！ どつかあるつて。ちょうどいい居場所！

春香、立ち止まり、ゆっくり振り返つて、

春香..あ、あの……

楓..いや、どうしたも何も、クリーニング出しに来はつたんちやう
の？

春香..（息を切らしながら）……あの。

美由..あ、いらっしゃい……あれ？

春香、美由の顔を見て一瞬かたまる。

春香..あ、いや、
美由..あ、そうか、そうやんな。賀上さん、家このへんやつたんや。
春香..あの……（決心したように）今日出して、明日の朝までつて、
仕上りますか？

美由..あ、ごめん。せつかく来てもらつたんやけど、実はうち、今日
で閉まんねん。

春香..え？

美由..閉店！ だから今日は、お客様から預かってる服取りに来
てくれるの待つて、全部ハケたら店じまいやねん。

春香..あ、そう…なんだ。

美由..ごめんな！

春香..いえ。

帰ろうとする春香。

楓..待って！ 明日の朝までって…なんか急ぎなんちやうの？

春香..あ、まあ……

美由..あ、そうか。

楓..なんかこの辺で早く仕上げてくれるクリーニング屋さんないの？

美由..ええ？ ライバル店を紹介しろってこと!?

楓..いや、ライバルも何も、もう負けてるやん。閉まんねんから。

美由..ぐさつ。デリカシーないなあ。

楓..ほんまに。どつかあつたら教えてあげたら？

美由..いや……この時間やつたら、どんな早い店でも、明日の夕方やなあ。大手の、最短当日中に受け取り可能！ みたいなどこでも、まあ、朝のうちに集荷きて、戻つてくるのがその日の夕方とか。

楓..そうかあ……。

春香..いいんです。すみません。

美由..あ、待つて！ それ、中身何？

春香..え？

美由..物によつては、うちにある物で何とかできるかもしねん。

春香..え、いや、でもさすがにそれは。

美由..うちも、もう今では業者に出して洗つてもらうようになつたけど、ほんまに何年か前までは、家で洗うのまでおばあちゃんがやつててん！ だから、一応道具類ひと通り揃つてるし。

楓..ええやん！ ここで洗おう！ 沢田クリーニング店、最後の

客さんや！

春香..え、いや……

美由..中身何？

春香..いや、でもそこまでしてもらうの悪いし……。やっぱりいいです。

美由..何でよ！ 明日の朝までにいるんやろ？

春香..そうだけど……でも、やっぱり。

楓..ほんまに大丈夫なん？

春香..……

楓..何に使うやつ？

春香..部活の……ユニフォームなんだけど……

美由..ユニフォーム？ 賀上さん、運動部やつけ？

春香..いや、吹奏楽……

美由..あ、吹奏楽つてユニフォームあるんや。

楓..え、吹奏楽？

美由..ん？

楓..吹奏楽つて、確か、そろそろコンクールちやうん？

美由..え！

春香..うん……明日……。

美由..ええ！ 大変やん！

春香..いや、でもいいんです。そこまでしてもらうの、悪いんで。

美由..いやいや、良うないよ！

春香..大丈夫です、ほんとに！

美由..ええから、ちょっとそれ貸して！

美由、半ば無理やり春香から手提げを奪い取る。

袋から吹奏楽部のユニフォームを取り出すと、ベッタリと油性マジックで落書きされている。

美由..え……

楓..何これ。

二人からユニフォームを奪い返す春香。

美由..それ……

春香..これ、その、ちょっと、汚れちゃって。普通に、自分で、汚しちゃって。その、たぶん、油性ペンだと思うんだけど。

顔を見合わせる美由と楓。

楓..あ、えっと……うん、そつか。

春香..うん。

美由..これは……何とかせなな！

春香..え？

美由..だって、明日コンクールなんやろ？ 綺麗にせんとやろ！

春香..えっと……

楓..え、できるん？

美由..え……うん！

楓..ほんまに？

美由..……大丈夫やつて！ 洗剤も普通の家よりは色々置いてるし。楓..せやけどこれ……えっと、賀上さん？ これ、油性ペンって言うたよね？

春香..はい、多分。

楓..……いける？

美由..大丈夫、大丈夫！ 何とかなるで！ 賀上さん、頑張って明日のコンクールまでに汚れ落とそう！

楓..いやいや、ちょっと。

美由..何？

楓、美由を引っ張つて春香から離れる。

楓、美由、春香に聞こえないよう、背を向け小声で話す。

美由..何？

楓..これ、勝手にやつてええん？

美由..え？

楓..だから、これつて、うちらで勝手にやつてしまえてええ話なんやろか。

美由..……あ、うちの店の売上にするかどうかとかつてこと？ 大丈夫！ 今回のはクラスメイト割引かつ閉店セールでタダにしと

くわ！

楓..ちやうつて！ 誰もあんたの店の売上心配してへんねん。

美由..は？ 冷たいなあ。

楓..じやなくて……あれ、どう見ても人為的なもんやん。

美由..人為的？

楓..誰かが故意にあの子のユニフォームに落書きしてるやんってこと。

美由..ああ……やっぱりそうなんかな？

楓..え？ いやいや、どう見てもそうやろ。

美由..いや、うちも初めは誰かにやられたんかつて直感で思ってん

けどさ、賀上さん、自分でやつたって言うてたから、あ、そうなん

かと思つて。

楓..え！ 納得してたん？

美由..うん。

楓..そんなわけないやん。どうやつたら自分のうつかりであんだけ

汚せるん？

美由..そこまでは知らんよ。

楓..美由……あんた想像力足らんわ。足らんすぎる。

美由..ええ。

楓..で、どうする？

美由..どうするつて？ 洗剤の種類の話？

楓..ちやう！ ちやうやろ！ これ、うちらが勝手に汚れ落として

しもてええん？ 先生とかに言わんで。

美由..え……

楓..これ、汚れ落ちてしま、証拠隠滅やん。

美由..証拠つて……でも、賀上さんは汚れ落としたいんやから。

楓..それはそうやけど……

美由..証拠背負つて明日のコンクール出るん？

楓..え？

美由..私は誰かに嫌われてて、嫌がらせでユニフォームに落書きさ

れましたつて、そういう証拠背負つてステージ立つん？ そんな

ん、嫌やろ。普通に。

楓..それはそうかもしれんけど……

春香..あの、

美由..あ、ごめんごめん！ 今、使えそうな洗剤の相談しててん！

大丈夫。うちらが綺麗にするから！

春香..いや、でも私やっぱり……

美由..大丈夫やから！ 何も心配せんといて！ あ、お金とかいら

んから。クラスメイト割引と閉店セールで特別にタダ！

春香..はあ……

美由..とりあえず、まず洗剤とタライ持つてくるから！ ちょっと

待つて！

楓..え、ここでやるん？ 店の奥じやなくて？

美由..ここよ！ 奥でやつてたらお母ちゃんに色々聞かれてややこ

しいやん。

楓..ええ……

美由..ちょっと待っててな！

美由、店奥へと退場。

残された楓と春香、少し気まずい沈黙。

楓..えっと、賀上さん？

春香..はい。

楓..え..あ、なんか、ごめんな。美由、昔からあんな感じやねん。

すぐ突っ走る性格っていうか。

春香..

楓..ん..あ、賀上さんって、下の名前なんて言うん？

春香..春香、です。

楓..へえ！ ええ名前やね！

春香..

楓..私、西野、楓。

春香..はい。

楓..えっと、座る？

春香..いえ。

楓..座つたら？

春香..大丈夫です。

楓..座つて！ な？

春香、仕方なく美由が座つていた場所に座る。

楓..吹奏楽部？

春香..はい。

楓..楽器何してんの？

春香..クラリネット。

楓..へえ..あ、前の学校でもやつてたん？

春香..うん。

楓..へえ..

楓、店の奥の様子を伺う。美由はまだ戻つてこない。

楓..えっと..、どこから来はつたん？

春香..？

楓..あ、賀上さん。どつから来たん？

春香..

春香、黙つて下手を指す。

楓..あ、ごめん。そう言う意味ちやうくて、えっと、どこから転校し

て来たん？

春香..福岡。

楓..え、そなん？ でも関東弁やん。

春香..関東弁。(少し馬鹿にしたように)

楓..あ、標準語？ いや、共通語？ イントネーションさ、関東やん。

春香……その前が、東京。

楓..あ、2回転校してるんや。

春香..その前が仙台で、その前が神戸。その前が札幌で、その前はまた東京。

楓..ええ！ そんな何回も転校してるんや。大変やね。

春香..父の仕事の都合で。仕方ないから。

楓..そつか、そやんね。お父さんの会社、大きい会社なんやろね。

そんな全国飛び回るような仕事つて。

春香..

楓..すごいね。

春香..はあ。

間。

美由、タライと重曹を持って駆けてくる。

美由..おまたせー！

楓..お！ やつと戻つて来た！

美由..ごめんごめん！ 重曹なかなか見つかんくて。

楓..重曹？

美由..うん。確かにこれでこすつたら落ちるつて。

楓..おばあちゃんが言うてたん？

美由..ううん。ユーチューブで見た。

楓..なんやそれ！ クリーニング屋のメンツ丸潰れやん！

美由..うるさいわ！ (楓に) それ貸して！ (春香に)

春香、ユニフォームを渡すのをためらう。

美由..ほら！
春香..うん。

美由、春香からユニフォームを受け取り、笑顔で

美由..大丈夫。頑張って落とそう！ そしたら、はい、これ！

美由、春香に歯ブラシを渡す。

春香..え……？

美由..賀上さんは、これでこすつて！

楓..え、賀上さんにもやらせるん？

美由..え？ いやいや、やらせるつて人聞き悪い。皆でやつた方が早いやん！

楓..いや、そうかもしけんけど……

美由..うん。確かにこれでこすつたら落ちるつて。

美由..楓にも歯ブラシを渡し、タライへ向かう。

ユニフォームをタライに沈める。

美由..ほんなら、楓ちゃんはこの辺で、賀上さんはこの辺こすつて！

楓..コンクール、出えへんの？

楓..ほんで当たり前にうちも手伝うねんな。

春香..……。

美由..賀上さん、うちの横来て！

春香..はい。

春香..あの、やつぱりいいです。

美由..え？

春香..やつぱり、大丈夫。ごめんなさい。色々持つて来てもらつたのに。

美由..ええ……でもこれどうすんの？

春香..……分からぬけど。

楓..……そうやんな、不安やんな。大事なユニフォーム、素人に洗濯されるの。しかもこんな、家庭的なやりかたで。

美由..素人ちやうし！クリーニング屋！

楓..でもこれ見て。歯ブラシやで！？

美由..結局これが一番落ちんねんて！

春香..……

美由..まあ不安かもしけんけど……。でも、やつてみるだけやつてみ

いひん？このままコンクール出るんはさすがに……ちょっとアレやろ。

春香..……いや、もう大丈夫。

美由..でも……

春香..コンクールは、もう出ないから。

美由..楓..え？

春香、タライに入れられた自分のユニフォームを引き取ろうとする。

が、美由、ユニフォームをはなさない。

美由..あかん。

春香..え？

美由..すみませんが、まだお返しえきません。

春香..え……

楓..ちょっと、美由。

美由..お預かりしたお洋服は、まだクリーニング中です。沢田クリーニング店は、こんなビシャビシャのまま、洋服をお客様にお返し

するような店ではございませんので。

春香..……

楓..美由、もうええつて言うてはるやん。

美由..でも、もうビシャビシャにしてしまいましたので。

春香..この日のためつていうか……。好きでやつてただけだし。

美由..いや、そんな……

春香..ごめんね、沢田さん。こんなにしてくれたのに。